

令和4年度第1回高梁市在宅医療・介護連携推進協議会（要旨報告）

日 時 令和4年7月22日（金）

19時～20時40分

場 所 高梁市役所 3階 大会議室1・2・3

1 開 会（進行：内岡所長）

出席委員15名（うちWeb参加3名）、欠席委員1名、事務局4名

※委員、事務局の紹介

2 会長・副会長の選出

会 長 仲田委員

副会長 西委員、鶴見委員、草野委員

（仲田会長あいさつ）

この会もいろいろなことを企画して進めてきて、今までになかった成果が上がってきてプラスの面もあったが、人口減少、医療・介護の人手不足など困難な状況もある。人手は少なくてもなんとかレベルを維持し、また人手を増やす努力をしていかなければならない。そのようなことで皆様のご意見をいただきながら進めたい。

3 協議事項（進行：仲田会長）

（1）令和4年度の取組について

①令和4年度の会議体制について（P4～5 事務局説明）

特に意見なし

②全体的な方針について（P6～7 事務局説明）

○晴れやかネットケアキャビネットについて

- ・現在高梁市でどの程度使われているのか把握をしてほしい。
- ・電子カルテとケアキャビネットが同じパソコンに入っていることで、電子カルテの内容をケアキャビネットにコピーアンドペーストして使っていることで使いやすい。
- ・日々の業務と別で入力が必要となるので一手間かかる。
- ・医師の代理で同意を取るサポーターになっているが、代理ということでなかなか同意が取りづらい。
- ・利用者がどうやったら増えていくのかを検討し、多職種でしっかり使っていこうという方針を決めてシステムを構築してほしい。
- ・システム自体は有効だと思うが、利用料金がポイントになる。
- ・システムありきではなく、現場が何に困っているのかを確認した上でシステムを構築した方がいい。
- ・入力するのが面倒くさい。
- ・オンラインで患者の様子を診る、話をするというのが馴染めない。
- ・システムはあまり利用するつもりはない。
- ・もうちょっと簡単で使い勝手がいい方がいい。
- ・携帯電話に近い形で使えるものがあるといい。

○医療・介護市民公開講座について

- ・診療所紹介を市内すべての診療所に広げるのは難しい。
- ・診療所には紹介できるようなものがほとんどない。
- ・それぞれの診療所、事業所には特色があるので、市民が知るいい機会になる。
- ・何らかの方法で何施設かを取り上げて紹介すればいい。
- ・従来の枠にとらわれずにちょっと違う視点からACPを身近に感じられるメッセージが発信できればいい。
- ・以前寸劇をやったが楽しみ、おもしろみがあってよかった。
- ・寸劇のような形でACPを啓発するのはありだと思う。
- ・寸劇はあってもいい。
- ・「自分らしく生きるための話し合いガイド」「記入シート」を来場者に配布して、模擬人生会議をしてみてもどうか。

③実務者部会について（P 8 事務局説明）

- ・ACPは市民で知らない方もいると思うので、普及・啓発は続けてほしい。

④高梁かんごねっとについて（P 9～11 事務局説明）

- ・今年度から始まった新入職者サポート研修（4回のうち1回開催済み）の参加者からとてもよかったとのこと声があった。
- ・とてもたくさん研修会をされていると思った。

(2) 在宅医療にかかるデータについて（P 12 事務局説明）

特に意見なし

4 その他

- ・在宅生活支援・通いの場ボランティア養成講座について（事務局説明）
- ・家族介護者交流事業について（事務局説明）
- ・高梁市健康福祉のつどいについて（事務局説明）

5 閉 会

(西副会長あいさつ)

今年度の在宅医療・介護連携推進協議会の課題はケアキャビネットと市民公開講座。ケアキャビネットは県の方針により市の方針を決める。市民公開講座は寸劇をするならば皆様の協力をお願いする。